

ボランティア活動グループ訪問記



相模原障害者ダンスを楽しむ会



7月18日(日)午後 梅雨が明けたとみられると発表されたばかりの暑い日古淵駅に近い大野中公民館へ。毎月1回第3日曜日午後1時半〜4時までが例会の日と聞いてお邪魔しました。代表の古矢野榮さんに快く迎えていただきました。今日の参加者は人で全員が女性です。会費には男性も勿論いらっしやるが、今日は欠席とのこと。この暑さとコロナ禍も影響していて部屋に入れる人数にも制限があるのです。

まず体ならしく踊り「サザエさん」を踊ってみせていただきました。ゆっく〜と静かに見えるが動きはとても大きく華やかです。お話しは、月1回の練習では毎回のことも忘れてしまっ〜と云って、毎回踊りながら思い出すのだそうです。

体がほぐれてきたところで「野に咲く花のよう」とオリジナル曲だと言いつつ「君とダンス」を披露していただきました。説明によくと使用している車椅子は一般に



参加者全員で静かに、優雅に練習

私たちが見かけた使用したりするものと同じなのです。介助者が押したり引いたり動かしただけでも重くてむずかしいものですが、自然に大き〜くしたりとした動きで踊れるようにも感動しました。休憩に入りの会費の方にお話をうかがいました。「踊り方も皆で確認しながらの美しく見えるように工夫します」とのこと。気が付いたところをどう動けばもっと良くなるかを話し合い、踊ってみてシッカリ決まればうれしい達成感も味わえるそうです。

会の成り立ちなどを古矢野さんにつかがいまして。設立は平成7年、車椅子の「主人」と2人3脚で始められた。今はお一人で代表を務められています。今年で28年目。現在の会費は30名。例会は大野中公民館です。

どんな曲でも幅広く挑戦しています。社交・シク・フォーク・手話ダンス・民謡(盆踊り)など。普通で速度で踊りについていけない場合は音楽のスピードを調整したりして皆さんが参加出来るように工夫しています。

例会のほか、ほかほかふれあいフェスタ、冬のほかふれ(世界障害者週間、障害者の日キャンペーン)、市民接まつりにも参加。障害者団体、福祉施設へのボランティア活動など沢山あります。

受賞歴も数多くあり、直近では平成30年厚生労働大臣賞を受賞しました。

一般に使用されている車椅子を使って踊ることについては、パートナーの方も大きな動作が求められる。手も肘一杯広げて、ステップも大きく踏まないとつまづき跳れないし、優雅には見えません。色んな工夫がなされています。最後に優雅で美しい「リネ

「ワルツ」を踊って見せていただきました。

会のモットーとなっている『障がいのある人も、無い人も共に手を取り合い、ダンスを楽しみ、人と人とのふれあいを大切にして、明るい地域社会を作る』を目的にこれからも頑張って続けて行きたいです。今日はありがとうございました。(植野)

最後に是非見せたいと「デネシーワルツ」ステキ!



古矢野さん

*障害者とダンスを楽しむ会
代表 古矢野 榮
〒252-0301
相模原市南区鵜野森1-30-3-103
TEL 042-746-1823

クイズに挑戦

なげなげです。

- ① 重い病気がかかるとの何秒かかるといしょうか? ヒント・重い病気とは別の言い方ができますね。
- ② 世界の真ん中にある昆虫はなんでしょう? ヒント・「世界」をひらがなにしてみるよ……

